

教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区分	各教科										特別の 道徳	特別 活動	総合的な 学習の 時間	外国語活動 + 英語活動	総 授 業 時 数
	国 語	社 会	算 数	理 科	生 活	音 楽	図 画 工 作	家 庭	体 育	外 国 語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD『OK English(約8分のDVD)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English



3 本校の取組

六ツ美中部小学校では、毎日13時40分から13時50分の昼なび（昼の学びタイム）を「英語活動」の時間としています。児童は『OK English』のDVDを視聴してチャンツなどの発音練習を繰り返したり、歌や踊りを楽しんだりしながら英語に親しんでいます。DVDには、生活の中から具体的な場面が設定され、会話練習に取り組んでいます。また、登場人物になりきって会話を楽しむ姿が見られます。

3, 4年生は、週1時間の外国語活動をST（サポートティーチャー）と共に学び、1～4年生は、英語活動として岡崎市のDVD教材視聴を週1時間分実施しています。

◇指導の基本方針と全体計画

外国語に触れることによって、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、言葉の豊かさや大切さに気付くよう指導します。また、基本的な表現や外国語の音声に慣れ親しみ、楽しさを味わわせることを指導の基本とします。

【全体計画】

- ・1～4年生は、毎日10分間を英語活動の時間とし、DVDの視聴を週5回実施します。
- ・具体的な場면을想定して、日常会話に触れることによって5・6年生の外国語科の学習につなげることを目指します。

◇学年別の指導の重点

- 1年生：英語の音声に慣れ親しみ、あいさつや数などの簡単な英語表現を聞き取ったり発音したりします。
- 2年生：英語の音声に慣れ親しむと共に、簡単な英語表現を身に付けます。
- 3年生：コミュニケーションを図る活動を取り入れ、外国語活動への意欲を高めると共に、英語の音声やリズムに慣れ親しみながら学びます。
- 4年生：日常会話を中心に英語の音声に親しむと共に、外国への興味・関心、英語学習への意欲を高めます。また、日本語との違いを知り、言葉の豊かさ気付くようにします。

